

2024年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	静岡理学療法学科	履修者数	580
		回答者数	452

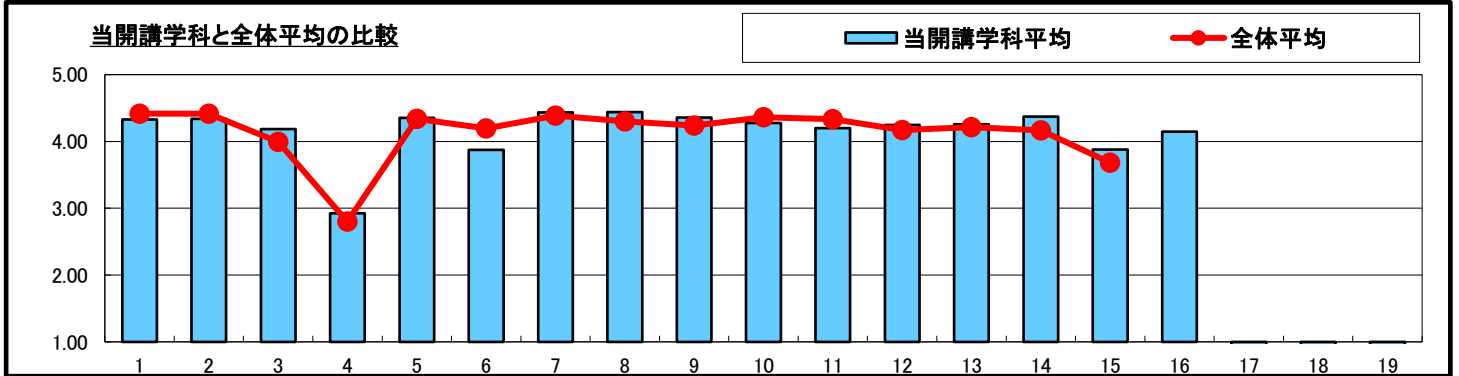
学年 マーク	回答者数／構成比（％）				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	70 15.5	348 77.0	29 6.4	5 1.1	0 0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比（％）					有効 回答	無効 回答	
			5	4	3	2	1			
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
▼全学部共通の質問項目										
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.33	224	174	31	17	4	450	2	
			49.8	38.7	6.9	3.8	0.9			
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.34	241	155	32	17	7	452	0	
			53.3	34.3	7.1	3.8	1.5			
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.18	199	176	45	25	7	452	0	
			44.0	38.9	10.0	5.5	1.5			

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.93	2時間以上 49 10.9	1時間以上 2時間未満 69 15.3	30分以上 1時間未満 161 35.8	30分未満 142 31.6	全くして いない 29 6.4	450	2
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.35	235 52.3	158 35.2	42 9.4	7 1.6	7 1.6	449	3
6	この科目の難易度は適切であった	3.87	138 30.6	184 40.8	72 16.0	47 10.4	10 2.2	451	1
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.43	265 58.8	138 30.6	32 7.1	10 2.2	6 1.3	451	1
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.44	258 57.3	150 33.3	29 6.4	8 1.8	5 1.1	450	2
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.36	262 58.2	127 28.2	35 7.8	13 2.9	13 2.9	450	2

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.28	226 50.0	156 34.5	47 10.4	15 3.3	8 1.8	452	0
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.20	206 45.6	161 35.6	62 13.7	16 3.5	7 1.5	452	0
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.25	219 48.6	155 34.4	55 12.2	13 2.9	9 2.0	451	1
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.26	231 51.2	143 31.7	50 11.1	16 3.5	11 2.4	451	1
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.37	242 53.7	155 34.4	39 8.6	9 2.0	6 1.3	451	1
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.88	十分に 読んだ 127 28.1	よく読んだ 191 42.3	どちらとも いえない 95 21.0	ほとんど 読まなかった 31 6.9	全く読んで いない 8 1.8	452	0

▼学科設問									
16	分からないことについて、自分から調べることができた	4.15	187 41.5	178 39.5	62 13.7	13 2.9	11 2.4	451	1
17		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	452
18		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	452
19		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	452



2024 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	静岡理学療法学科
講評者	静岡理学療法学科学科長 佐藤友紀

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	すべての設問において平均が 4 点を超えていた。なかでも設問 3 は全体平均より高い傾向であったと考える。資格を取得する学科のため、資格を取得しない他学科より、目的意識が高い学生が入学していることが関係していることが要因であると思われる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	概ね全体平均並みであった。しかし、設問 6「この科目の難易度は適切であった」は、学科平均が全体平均より低い傾向であった。これは、国家試験を受験する学科のため、各教員が国家試験合格を目標に熱心に授業を実施している表れと取ることができる一方、学生に分かりやすく伝えられていないことの表れでもある。わかりやすく伝える教授力を教員が意識し、実践できるよう、FD 研修などを生かしていきたい。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	設問 11「板書、スライド、配布資料は適切であった」が全体平均よりやや低く、設問 14 の学生への受講態度の注意は全体平均より高い傾向があった。上記の設問 6 と合わせて考えると、入学してきた学生の変化に対応した教授力で授業を実施することが重要であることを感じさせるものであった。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	分からないことがあった場合、半数以上の学生が進んで調べることができたという回答であった。約 1/3 の学生は自ら調べることがしなかったため、この 1/3 の学生が進んで分からないことを調べることができるようになるための工夫が必要である。これができるれば国家試験の合格率も 100% に到達できると考える。